

高校出張講義実施概要

氏名	亀田 貴雄
学科 コース (主担当)	地球環境工学科 環境防災工学コース
職名	教授
授業題目	南極での雪氷研究 － 知られざるマイナス70℃の雪と氷の世界 －
授業内容	授業担当者は第36次および44次南極地域観測隊員として、1995年および2003年に南極氷床の内陸部に位置するドームふじ基地（南緯77度19分01秒，東経39度42分12秒）で越冬観測を実施した。これらの観測では冬季最低気温が-79℃のドームふじ基地で雪と氷の研究観測の実施に加えて、南極氷床内部の氷（氷コア試料）を掘削する作業に従事した。得られた3030m深の氷コア試料の分析により、過去72万年間の地球の気候変動が推定されてきている。今回の授業では、1）我々がドームふじ基地で実施した雪氷、気象、宙空（オーロラ）関連の科学観測の概要および過去34万年間の地球の気候環境変動の特徴をわかりやすく説明します。2）ドームふじ基地は標高3,810mに位置し、世界で最も生活環境が厳しい場所にあるので、そこでの越冬隊員の暮らしについて説明します。
簡単な実験を行う場合はその内容	
授業に使用する機材（高校が用意するもの等）	プロジェクタ、プロジェクタとPCをつなぐケーブル、スクリーンを用意してください。PCと指示棒（LED）は持参します。
備考	担当者の大学での講義や会議に関連して、実施可能な曜日を指定する場合がありますので、複数日を提案していただけると良い。講義時間は90分必要です。授業時にはパワーポイントを印刷したものを生徒さんに配布するので、その印刷をお願いします（白黒でOK）。

※実施時期は、概ね7月から11月の期間とします。